

〔付録〕

昭和30年度国語教育研究協議会の記録

〔趣 旨〕

国語教育の諸問題は、国語の改善と関連して考えなければならない点が多い。この点を中心議題にして、国語学習上の言語・文字の問題について研究協議する。

〔開催地区と日時〕

中部・近畿地区（会場——金沢大学）	10月15日（土） 16日（日）
東北・北海道地区（会場——仙台第二高校）	10月15日（土） 16日（日）
中国・四国・九州地区（会場——鳥取大学）	10月22日（土） 23日（日）
関東地区（会場——茨城大学）	12月15日（木） 16日（金）

〔各地の状況〕

中部近畿地区

主 催 文部省・金沢大学・石川県教育委員会  
講 演

放送とことば	国語審議会委員 NHK放送文化研究所長	中 村 茂
アクセントとその指導 —石川方言について—	金沢大学助教授	岩 井 隆 盛
国語政策と国語教育	文部省国語課長	白 石 大 二
国語表記の問題点	文部省国語課 文 部 事 務 官	大 宮 清 名

## 研究発表

### (1) 小学校部会

入門期におけるはなしことばの指導

金沢市此花町小学校 倉見 桑子

共通語の指導と学校経営

富山県立山町立岩嶺小学校 笠置 雅夫

話す力を伸ばすための場の構成と指導

福井市立春山小学校 古橋 喜義

話しことばとその指導

新潟県南魚沼郡西五十沢小学校長 坂井 勝司

### (2) 中学校部会

読みの力の基礎的啓培

金沢市立野田中学校 吉田 政男

中学生における読みの基礎

富山県礪波市立出町中学校 松永 玉吉

### (3) 高等学校部会

宣命書の研究

石川県立金沢桜丘高等学校 小倉 学

現代文における文法の問題

——口語文法の問題——

石川県立七尾高等学校 今井 保司郎

文法指導の一つの試み

新潟県立三条高等学校 石川 義夫

「話し手、聞き手」の文法体系への反省

滋賀県立愛知高等学校 石田 肇

## 協議会と協議題

### (1) 小学校部会

話しことばの指導

司会

金沢市教育委員会指導主事

宇田 周一郎

指導

金沢大学助教授

岩井 隆盛

金沢大学講師

室木 弥太郎

### (2) 中学校部会

読みの指導

司 会	石川県珠洲市立三崎中学校長	米 田 政 栄
指 導	金沢大学助教授	藤 田 福 夫
(3) 高等学校部会	文法の指導	
司 会	金沢大学教育学部附属高等学校	川 西 友 吉
指 導	金沢大学教授	窪 田 敏 夫
	金沢大学助教授	高 羽 五 郎
(4) 全体協議会	国語改善と国語教育	
司 会	文部省国語課長	白 石 大 二

### 東北・北海道地区

主 催 文部省・東北大学・宮城県教育委員会  
 講 演

国語審議の戦後10年	国語審議会会長 芸術院会員 文学博士	土 岐 善 磨
国語教育と国語問題	国語審議会委員 東京教育大学教授	石 井 庄 司
漢字と国語	東北大学教授	佐 藤 喜代治
国語政策について	文部省国語課 文部事務官	塩 田 紀 和

研究発表ならびに研究協議会

#### (1) 小学校部会

主題 効果的な漢字学習指導について

効果的な漢字の指導法について

岩手県和賀郡地区指導主事 齋 藤 久 夫

昭和29年度文部省指定実験調査校としての

効果的な漢字学習指導について

宮城県宮城郡作並小学校 辺 見 たみ子

漢字の読みに関する調査から

宮城県登別郡宝江小学校 佐 藤 愉 一

漢字の学習指導について

北海道札幌郡琴似小学校 山 本 吉 美

司 会 宮城県教育研究所主査 平 間 初 男

指 導 文部省国語課文部事務官 塩 田 紀 和

(2) 中学校部会

主題 中学生の語い力の実態とその指導について

	宮城県登米郡北上中学校	千 葉 ケ イ
	宮城県柴田郡船岡中学校	水 上 啓 一
	宮城県栗原郡一迫中学校	大 内 哲
司 会	福島県教委伊達出張所指導主事	遠 藤 伊 雄
	東北大学付属中学校	高 橋 専 吉
指 導	東北大学助教授	山 本 正
	文部省国語課文部事務官	塩 田 紀 和

(3) 高等学校部会

主題 高等学校における作文学習の実態とその指導について

	宮城県仙台第一女子高等学校	横 山 大 進
	宮城県玉造郡岩出山高等学校	浅 野 正 蔵
司 会	岩手県教育庁指導主事	八重樫 誠輝知
指 導	国語審議会委員東京教育大学教授	石 井 庄 司
	東北大学教授	佐 藤 喜代治

パネル式討議ならびに研究協議

主題 国語改善と国語教育

司 会	文部省国語課文部事務官	塩 田 紀 和
指導講師	国語審議会会長	土 岐 善 磨
	国語審議会委員	石 井 庄 司
	東北大学教授	佐 藤 喜代治
	東北大学教授	山 本 正

参加講師 福島県教育委員会伊達出張所

	指導主事	遠 藤 伊 雄
	岩手県盛岡工業高等学校	佐 藤 浩 平
	北海道札幌郡琴似小学校	山 本 吉 美
	仙台市上杉山通小学校	須 藤 良 吉
	宮城県名取高等学校	浜 田 隼 雄
	宮城県教委学校教育課指導主事	結 城 良 雄
	文部省国語課文部事務官	加 藤 彰 彦

## 中国・四国・九州地区

主催 文部省・鳥取大学・鳥取県教育委員会  
講演

国語を良くするものはだれか

国語審議会委員  
京都大学教授  
文学博士

遠藤 嘉基

国語教育者は国語問題をどのように実践したらよいか

国立国語研究所  
研究第二部長

興水 実

ローマ字教育の問題点

鳥取大学教授

木村 万寿夫

国語政策と国語教育

文部省国語課長

白石 大二

研究発表と協議

### (1) 小学校部会

話し方指導の実践と問題点

鳥取県気高郡瑞穂小学校

安藤 博

児童ノートに書かれた文字についての研究

同八頭郡智頭町山形第一小学校

国岡 頼美

一年生の国語教育に童話をどう取り扱うか

同 八頭郡智頭町土師小学校

河野 かつ

ローマ字学習とことばの指導について

同 八頭郡若桜町池田小学校

藪田 芳子

協議題「国語生活の改善と国語教育」

司会

鳥取県教育研究所員

伊沢 庸正

司会補助

鳥取大学付属小学校

大島 哲夫

鳥取市修立小学校

大塩 卓

指導

鳥取大学教授

木村 万寿夫

国立国語研究所研究第二部長

興水 実

文部省国語課文部事務官

須之内 英夫

### (2) 中学校・高等学校部会

国語と他教科関連上の語いと文字の問題

鳥取県八頭郡船岡町船岡中学校

北川 寿雄

硬筆によるかなの書写指導について

同 岩美郡岩美町岩美中学校 西山 栄 治

生徒の新聞を読む漢字能力について

同 東伯郡東伯町東伯中学校 川本市左衛門

話し方、聞き方の指導実践と問題点

同 日野郡伯南町日野上中学校 高橋 久 典

義務教育最終学年における読み書き能力の実態と漢字問題

同 西伯郡境港町境中学校 佐々木 誠

高校における国語教育についての教師の悩み

山口県熊毛南高等学校 藤本 勲

協議題「国語生活の改善と国語教育」

司会 鳥取県教育委員会指導主事 国田 隆 広

司会補助 鳥取西高等学校 長石 肇

鳥取東高等学校 塩沢 卓

鳥取大学付属中学校 恩田 諛 治

指導 国語審議会委員 遠藤 嘉 基

鳥取大学助教授 川口 義 克

文部省国語課長 白石 大 二

全体協議会

主題 国語生活の改善と国語教育

司会 文部省国語課長 白石 大 二

関東地区

主催 文部省・茨城大学・茨城県教育委員会  
講演

国語教育の目あてと国語問題

国語審議会委員 石井 庄 司  
東京教育大学教授

方言史と国語教育 茨城大学 金沢 直 人  
教育学部講師

国語問題と国語政策 文部省国語課長 白石 大 二

話しことばの問題 文部省国語課 三宅 武 郎  
文部事務官

## 研究発表と協議

### (1) 小学校部会

児童作文の実態から見た国語教育問題

水戸市立五軒小学校 清 宮 新

個人差に応じた読みの指導

茨城県那珂町立菅谷小学校 宮 田 ひ さ

学習上における言語生活の実態とその対策

茨城大学教育学部附属愛宕小，中学校 小 沼 久

司 会

水戸市浜田小学校長 井 戸 方 夫

茨城県教育庁指導主事 田 口 忠 義

指 導

茨城大学教育学部講師 金 沢 直 人

文部省国語課文部事務官 三 宅 武 郎

同 荻 野 宗 宣

### (2) 中学校部会

生徒の語い習得上における問題点

茨城県東茨城郡小川町立小川中学校 植 田 頼 忠

新聞読解の傾向とその対策

土浦市立土浦第一中学校 渡 辺 博 包

読書指導上における読解力の調査

茨城大学教育学部附属水城小，中学校 鳩 貝 実次郎

司 会

水戸市立緑岡中学校長 平 井 太 平

茨城県教育庁指導主事 矢 口 武 正

指 導

茨城大学教育学部教授 塚 本 勝 義

文部省国語課長 白 石 大 二

### (3) 高等学校部会

高等学校における語法指導上の問題点

茨城県立水戸第一高等学校 白 石 浪 男

就職における国語科問題の批判と国語教壇の内省

茨城県立水戸商業高等学校 軍 司 敏 郎

国語かなづかひの理論的解明

水戸工業高等学校 須 藤 一 男

文学教育における詩の指導法とその問題点

司 会	栃木商業高等学校	小 川 和 佑
指 導	水戸市教育委員会指導主事	菊 地 清 三
	茨城県教育庁指導主事	伊 東 暢 彦
	国語審議会委員	石 井 庄 司
全 体 協 議 会	茨城大学教育学部教授	酒 井 清 一
司会・指導	文部省国語課長	白 石 大 二
指 導	国語審議会委員	石 井 庄 司
	文部省国語課文部事務官	三 宅 武 郎



# 「国語問題問答」(第1集～第4集) 総目次

当 用 漢 字		集 ページ
当用漢字選定の基準……………	1	— 1
「使用上の注意事項」の 説明……………	2	— 3
当用漢字の補正		
当用漢字表の補正……………	3	— 5
教 育 漢 字		
当用漢字別表(主査委員 長報告)……………	1	— 37
漢字と義務教育……………	1	— 43
教育漢字に「𠄎」「𠄎」 は不必要ではないか……………	2	— 8
当用漢字音訓表		
当用漢字音訓表(主査委員 長報告)……………	1	— 7
漢 語 の 読 み 方		
情 緒……………	1	— 15
施 行……………	2	— 1
施 業……………	2	— 1
世 論……………	2	— 1
世 帯……………	2	— 1
博 士……………	2	— 1
詩 歌……………	2	— 2
砂 鉄……………	2	— 2
富 貴……………	2	— 2
「水郷」……………	3	— 37
熟語の読み……………	4	— 1
「口ころ」と「口くろ」…	4	— 2
「復興」と「腹腔」……………	4	— 3
漢 語 と 漢 字		
漢語の整理……………	1	— 3
絃と弦……………	1	— 4
「言う」と「云う」……………	1	— 92
部首について……………	1—97, 2—16	
年 令……………	2	— 9
12才……………	2	— 9
冒 険……………	2	— 9
探 検……………	2	— 9
「価格」と「価額」……………	2	— 10
「車輛」と「車両」……………	2	— 10
「批難」と「非難」……………	2	— 10
「排列」と「配列」……………	2	— 10
しょうゆ……………	2	— 10
音のない漢字……………	2	— 15
動植物の漢字……………	3	— 7
あて字……………	3	— 8
也……………	4	— 4
「寄附」と「寄付」……………	4	— 5
「明瞭」と「明了」……………	4	— 6
「味」と「味わう」……………	4	— 6
固 有 名 詞		
固有名詞と新字体……………	1	— 33

人名用漢字について……………1	—44
地名に使う漢字について	
の建議（本文）…2—26, 3—11	
人名用漢字（本文）……………3	—9

## 字 体

当用漢字字体表（主査委員長報告）……………1	—18
シンニウの書き方……………1	—29
「者」のテン……………1	—30
教・舎・黄・帰・芸・内・蔵・旅……………1	—31
桧……………1	—33
養……………1	—33
確……………1	—33
薄……………1	—34
様……………1	—34
棄と肅……………1	—34
静……………1	—35
船のへん……………1	—35
疎のへん……………1	—98
童……………2	—12
冷……………2	—12
夢……………2	—12
新聞の活字……………2	—13
人名用漢字の字体……………3	—10
旧字体はまちがいか……………3	—25
弍……………3	—26
海……………3	—26
総と聡……………3	—26
急……………3	—28
しんにゅう……………3	—28
「證」と「証」……………4	—6

「衆」と「冢」, 「純」と「純」……………4	—8
当用漢字の行書と草書……………4	—9
教科書体活字の「木」と「木」……………4	—9

## 略字について

略字について……………1—35, 3—27	
灯……………3	—27

## 書き取りの採点について

書き取りの採点について……………2—13, 3—29	
----------------------------	--

## 筆 順

夢……………2	—12
筆順の基準……………2	—14
新旧字体の筆順……………2	—14
筆順のきまり……………3	—29
必……………3	—30

## 漢字の学年配当について

漢字の学年配当について…2	—18
---------------	-----

## 現代かなづかい

現代かなづかい（主査委員長報告）……………1	—48
かなづかいの意義……………1	—60
会 津……………1—63, 2—20, 3—32	
焼津・飯塚……………1	—63
助詞「は」と「へ」…1—64, 3—31	
「ゆる」か「いろ」か……………1	—65
「とおる」か「とるる」か……………1	—65

「きれい」、「せんせい」…1 —66  
「地」は「ぢ」か「じ」か…1 —66  
「はなぢ」か「はなじ」か…1 —67  
「つつ」か「ずつ」か…1 —67  
「まちか」か「まじか」か…1 —67  
「世界じゅう」か「世界  
ちゅう」か…1 —68  
「基づく」か「基く」か…1 —68  
「魚づくし」か「魚づく  
し」か…1 —68  
「腕づく」か「腕づく」か…1 —69  
次のとおり…1 —91  
呼び声は「おおい」か「おう  
い」か…2 —19  
大 阪…2 —19  
舞鶴・浅茅が原…2 —20  
国府津…2—20, 3—32  
ルビのよう音…2 —20  
長音の「ろ」…3 —30  
「利雄」さんのふりがな…4 —10  
「今日は」と「今晚は」…4 —11  
「きろり」か「きゅうり」  
か…4 —12

送 り が な

「基づく」「基く」…1 —68  
送りがなについて…1—86, 3—32  
送りがなの統一…1 —88  
「当る」と「当てる」…1 —90  
次の…1 —91  
「当る」と「当たる」…1 —91  
「明かるい」と「明るい」…1 —92  
すくなくない…2 —21

戸締り, 限り, 答え, 受  
取書…3 —33

「漢字」と「かな」の使い方

三か条…1 — 5  
「他」「外」「ほか」…1 —16  
「来る」の使い方…1 —16  
できる…1 —17  
ふぜい…2 —11

標 準 語

「きれい」と「きれえ」…1 —66  
「ニホン」と「ニッポン」…1 —95  
「はえ」と「はい」…2 — 1  
私書箱…3 — 8  
標準語の用法…3 —35  
「ろお」と「さかな」…3 —36  
「じょうろ」か「じょろ」  
か…3 —36  
「国字」の意味…4 —14

敬 語

「これからの敬語」につ  
いて(部会長報告)…1 —72  
「社長」と「社長さん」…1 —76  
女子の「くん」…3 —38  
「これからの敬語」  
(本文)…3 —63

外 来 語

外国語・外来語の表記に  
ついて…1 —77  
アジャかアジアか…1 —82

料・珥・施……………2	— 9
外来語の表記法……………3	—34

### 公用文・法令用語

旧法令の一部改正の ときは?……………2	—41
公文用語の改善の仕事に ついて……………3	—15
法令用語改正要領(本文)…3	—17

### ローマ字のつづり方

小中学校のローマ字学習 について……………2	—29
ローマ字つづりと現代か なづかい……………2	—37
ローマ字のつづり方(訓令・ 告示)……………3	—39
第1表・第2表の使い方……4	—15

### 中国の地名・人名

中国地名・人名の書き方 の表について……………1	—84
-----------------------------	-----

### かなの学習について

ひらがな本位にしたわけ…2	—42
かなの学習……………4	—21

### 正書法について

総かな文にはならないか…2	—41
かたかなの用法……………3	—35

### 学 術 用 語

学術用語の整理……………3	—13
---------------	-----

整理の事情……………4	—26
「学術用語集」の刊行……4	—37
学術用語と当用漢字……4	—38
「学術用語集」の普及……4	—39

### く り 返 し 符 号

くり返し符号について……3	—34
くの字符号……………3	—34
横書きの「ゝ」……………4	—12

### く ぎ り 符 号

くぎり符号について……3	—33
--------------	-----

### 書 式

左横書きについて…1—93, 2—23
---------------------

### 国 語 白 書

国語問題要領について……3	— 3
「国語問題要領」本文……3	—49

### そ の 他

四段活用か五段活用か……1	—69
文語と口語の混用に ついて……………1	—96
数字の書き方について……2	—22
文語的語句の混用に ついて……………2	—43
アクセントの指導に ついて……………2	—43
国語問題と国語政策に ついて……………4	—40
昭和30年度国語教育研究 協議会……………4	—66

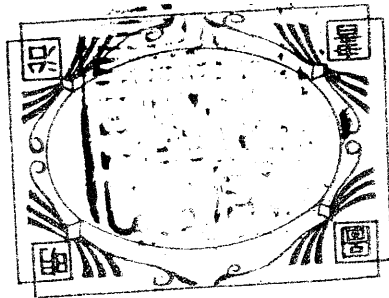
国語シリーズ 29

---

国語問題問答

---

第4集



MEJ 4072

---

昭和31年11月10日印刷 昭和31年11月15日発行

著作権有 文部省

東京都中央区入船町3の3

発行者 藤原政雄

東京都台東区上根岸72

印刷所 株式会社 第一印刷所東京工場

---

東京都中央区入船町3丁目3番地

発行所 明治図書出版株式会社

代表電話築地4351 振替東京151318

---

定価 34 円